



キャッチフレーズ

さくらっぴーに会える街

事業実施の背景

桜山商店街は戦後から商店街として形成され、昭和35年に組合を結成した歴史ある商店街。近年、往時のにぎわいはやや薄れつつあり、空き店舗も生じている状況にあった。

こうした中、平成16年度に近接する大学と連携し、「地域の特性を取入れたユニークな商標の創生とそれを生かした商品の開発」をテーマに商店街活性化の取組みをスタート。商店街のシンボルマーク制作、イルミネーション、まつりの実施など、学生のアイデアを生かしながら、学生と一緒に再生に向けた取組みを展開している。

事業の概要

【商店街のシンボルマーク 「さくらっぴー」の制作とその活用】

公募による商店街シンボルマークの制作

17年度に大学との連携により、商店街の商標（シンボルマーク）づくりに取組んだ。デザイン案は地元の小中学生を中心に公募し、商店街や学生、弁理士などで審査を実施、大学の協力を得て完成させ、商標登録も行った。あわせて、シンボルマークの愛称募集を実施。地域住民を中心に広く公募のうえ、一般人気投票により「さくらっぴー」に決定した。



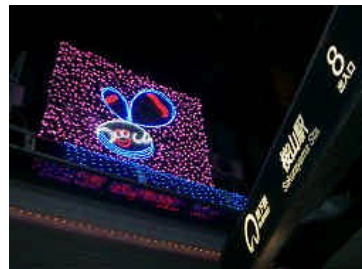
シンボルマークの活用 - 商店街優良店舗認証事業 -

シンボルマークを活用し、商店街の優良店舗認証事業を行っている。優良店舗の認証は、学生や地域住民などで構成の外部団体により、各店舗を「接客・快適性」「環境への配慮」「地域貢献」「サービス」の各項目について審査をして決定。各項目ごとに合格基準があり、全項目についてその基準に達していると判断された店舗を認証。認証は1年限りで毎年審査を行う。可否に関わらず改善点を指摘し、この事業を通して、各店が商品やサービスの向上に努めることを目的としている。



また、認証店にはシンボルマークの” さくらっぴー ”をデザインした額入りの認証状を交付。各店舗の店内、店頭に掲示するなどPRに活用される。

このほか、商店街のイルミネーションやアーケード、街路灯に” さくらっぴー ”をデザインするとともに、学生の協力により“ さくらっぴー ”を主人公にした「絵本づくり」等にも取り組んだ。また、かつて開催していた春のまつりを復活させ、学生との共同企画による地域住民参加型イベントを行っている。



事業の効果

- ・ 大学との連携によって学生からアイデアの提供を受け、また人的な協力もあって、さまざまな新規事業の展開が可能となった。
- ・ 定期的に学生との会合を持つようになり、組合活動活性化の原動力となっている。



事業の課題

学生との連携事業を継続させるとともに、今後は、空き店舗を活用し、地域住民や団体との連携により少子高齢化の進展に対応した事業を展開していく。

商店街の基本データ

名称：桜山商店街振興組合

理事長 土谷光男

所在地：〒466-0044

名古屋市昭和区桜山町5-98

電話：052-851-6735

構成員：約30名

URL：<http://www.sakurayama.net/>

